

横浜市長 山中 竹春 様

要望書

要望内容:横浜市北西部への新規弓道場の早期開設のお願い

令和 2 年 7 月に横浜武道館が開館しましたが残念ながら弓道場の設置は見送られてしまいました。未だに弓道場の新規開設は実現しておりません。

横浜市中で弓道場の早期な新規開設を最も必要としているのは北西部です。

神奈川県弓道連盟及び横浜市弓道協会はこの新規開設運動を全面的に推進しています。

横浜市中には公営弓道場が元町公園弓道場(中区)、常盤公園弓道場(保土ヶ谷区)、本郷ふじやま公園弓道場(栄区)、戸塚スポーツセンター弓道場(戸塚区)、泉スポーツセンター弓道場(泉区)県立武道館弓道場の計 6 か所があります。しかし全て中南部に集中し、北西部は弓道場の空白地帯となっています。

横浜市北部人口は青葉区 30.7 万人、都筑区 21.4 万人、緑区 18.2 万人、合計 70.3 万人で高知県、島根県、鳥取県よりも多くの人口を抱えています。県内高校運動部においても弓道の人気は高く、弓道場がある高校は少ないにも関わらず総部員数は 9 位に位置しており武道の中では 1 位です。しかし北西部には卒業後や転入者の有段者が弓道を行う場所がありません。

また、一般の方々が弓道を始めるための弓道教室はとても人気が高く、初心者教室への申込倍率は 2 倍を超えています。しかし卒業した青葉区や緑区の方々は近隣に弓道場が無いために多くの方々は仕方なく近隣の町田市の道場へ通っています。

開設後は弓道教室を実施し潜在弓道愛好者の掘り起こすとともに、学生や経験者の方々にも利用していただき弓道人口の増加に貢献いたします。

横浜市北西部、田園都市線沿線に弓道場の新規開設を強く要望いたします。

令和 7 年 12 月 22 日

神奈川県弓道連盟会長 依田 敏和

横浜市弓道協会会長 伊藤 律郎

青葉区弓道家代表 里井 慶芳
菅原 直文